

# バーチャルリアリティを通じた「意味」の理解 Understanding of “meaning” through Virtual Reality

高橋 康介<sup>1</sup>, 鳴海 拓志<sup>2</sup>

Kohske Takahashi, Takuji Narumi

<sup>1</sup>中京大学, <sup>2</sup>東京大学大学院情報理工学系研究科

Chukyo University, The Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Abstract

昨今、Virtual Reality (以下VR) の隆盛が著しい。VRの本質は「意味」の現前といえるかもしれない。その世界を一人称的に体験する者にとってのみ、その世界およびその世界における意味が現れる。ではその「意味」は一体どこから、どこに、どのような時に現れるのだろうか？本企画では、VRを用いた体験を通して、「意味」の認知現象と意味の圏論的理解や病的感覚体験との接続を試みたい。

**Keywords — Virtual Reality, Cross-modal integration, Embodiment**

本 OS では、VR 技術を実際にその場で体験するセッションを企画する。VR 体験を通じて、VR 技術の物体認知や身体拡張などの実験への応用を議論する。また、招待論者の研究紹介とVR体験、そしてフロア参加者からの議論・質疑を交えながら、ダイナミックに/インタラクティブに議論を展開することを想定する。